

問題7 次の情報モラルに関する記述を読み、各設問に答えよ。

情報通信社会の進展は、生活を豊かにする反面、利用者自身が良識と自己責任を持って行動しないと、さまざまな問題が起こる可能性がある。そこで、個人情報が悪用される事や著作権が侵害されることから守る法律が制定されている。

＜設問1＞ 次の記述のうち、個人情報に該当しないものを解答群から選べ

(1) の解答群

- ア．スマートフォンにおける指紋認証のためのバックアップデータ
- イ．新聞や雑誌などで既に公表されている個人の氏名や生年月日
- ウ．匿名加工情報に加工された患者の治療に関する情報
- エ．ユーザ名及びドメイン名に個人名が含まれるメールアドレス

＜設問2＞ 次の知的財産権に関する記述中の□□□□に入れるべき適切な字句を解答群から選べ。

知的財産権は、著作権と産業財産権に大別される。

著作権は、小説や音楽、美術などの文化の発達に関わる知的財産を保護するものである。著作権には、他人に譲渡したり、相続したりすることはできない一身専属的な□□(2)と著作物を市場に流通させることで発生する利益を保護する□□(3)、著作物の伝達に重要な役割を果たしている演奏家や歌手などの実演する者、音楽ソフト製作者、放送事業者等に認められる□□(4)がある。著作権の保護期間は著作者の死後、□□(5)年である。

産業財産権は、発明や創造の成果を保護し、産業や生活に応用できるように支援することを目的としている□□(6)、自社の取り扱う商品名やロゴなどのトレードマークやキャラクタを独占して利用できる□□(7)などがある。

(2) ～ (4) の解答群

- ア．著作財産権    イ．著作者人格権    ウ．著作隣接権

(5) の解答群

- ア．20                      イ．25                      ウ．50                      エ．70

(6) , (7) の解答群

- ア．意匠権                      イ．実用新案権                      ウ．商標権                      エ．特許権